



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月25日

上場取引所 東 名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 齊藤 隆夫
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

TEL 0568-33-7211
 平成24年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,378	△9.1	1,739	△14.1	1,661	△14.0	1,084	△1.2
24年3月期第2四半期	21,330	94.2	2,024	79.8	1,931	84.4	1,098	127.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 955百万円 (△3.2%) 24年3月期第2四半期 987百万円 (127.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.28	—
24年3月期第2四半期	19.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	35,475	27,194	76.3	480.74
24年3月期	34,637	26,518	76.2	468.78

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 27,054百万円 24年3月期 26,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.8	3,500	10.1	3,400	7.0	2,200	38.4	39.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	56,457,898 株	24年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	182,277 株	24年3月期	182,079 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	56,275,695 株	24年3月期2Q	56,277,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月～9月）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、一部に持ち直しが見られるものの、欧州金融危機を背景とした海外経済の減速感及び円高の長期化、中国をはじめとする新興国の成長スピードの鈍化等、景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況の中で推移いたしました。

当制御機器業界におきましても、海外経済の減速を受け、全体の需要は減少いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における業績は、第1四半期連結会計期間（平成24年4月～6月）でスマートフォン関連や自動車関連向けに拡大するとともに、中国においても地産地消の効果が始まり、前第3四半期連結会計期間（平成23年10月～12月）を底に回復してまいりました。しかしながら、当第2四半期連結会計期間（平成24年7月～9月）に入り、国内においては、主要顧客である半導体・液晶関連、自動組立機械関連などの需要が落ち込み、さらに、好調であった中国需要が足踏み状態となり、厳しい状況が続いています。

以上の結果、売上高は19,378百万円（前年同期比9.1%減）となりました。営業利益は1,739百万円（同14.1%減）、経常利益は1,661百万円（同14.0%減）、四半期純利益は1,084百万円（同1.2%減）となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（F A用センサ、P L C、プログラマブル表示器など）

センシングコントロール事業においては、第1四半期連結会計期間でスマートフォン関連や自動車関連向けに拡大いたしました。当第2四半期連結会計期間に入り、半導体・液晶関連の設備投資抑制を受け減少いたしました。海外においても、当第2四半期連結会計期間に入り中国、韓国等における半導体・液晶関連の需要が落ち込み、売上高は減少いたしました。その結果、売上高は11,060百万円（同9.6%減）となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザーマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

プロセッシング機器事業においては、第1四半期連結会計期間でスマートフォン関連や自動車関連の需要を取り込み、国内及び中国・アジアを中心に販売を伸ばしましたが、当第2四半期連結会計期間に入り国内設備投資抑制の影響を受け減少いたしました。その結果、売上高は4,255百万円（同6.4%減）となりました。

・E c o・カスタム事業（エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品など）

E c o・カスタム事業においては、震災以降の電力不足を受け、節電対策における電力の見える化需要が増加し、電力監視機器「エコパワーメータ」などエコ関連商品の顧客開拓が進化したものの、カスタム商品が半導体関連の設備投資抑制の影響を受け、減少いたしました。その結果、売上高は4,062百万円（同10.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は35,475百万円となり前連結会計年度末に比べ838百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,178百万円増加し、24,739百万円となりました。主な内容は商品及び製品が390百万円、原材料及び貯蔵品が293百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、10,736百万円となりました。主な内容は有形固定資産が240百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、6,069百万円となりました。主な内容は未払費用が114百万円、賞与引当金が183百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ148百万円減少し、2,211百万円

となりました。主な内容は退職給付引当金が132百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ676百万円増加し、27,194百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,084百万円による増加と、配当金の支払281百万円の減少等によります。

当第2四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより9,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,063百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,638百万円、売上債権の減少による資金の増加1,963百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは3,498百万円となり前年同四半期に比べ2,620百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出369百万円、預け金の預入による支出5,000百万円、定期預金の払戻による収入3,600百万円等により1,831百万円の支出となり、前年同四半期に比べ1,544百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額281百万円、短期借入金の返済による支出210百万円等により491百万円の支出となり、前年同四半期に比べ269百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,129	5,629
受取手形及び売掛金	5,586	3,595
商品及び製品	1,353	1,743
仕掛品	606	547
原材料及び貯蔵品	2,636	2,929
預け金	653	8,616
その他	1,598	1,680
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	23,561	24,739
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,768	3,768
その他(純額)	5,971	5,731
有形固定資産合計	9,740	9,499
無形固定資産		
	377	354
投資その他の資産		
その他	970	890
貸倒引当金	△13	△8
投資その他の資産合計	957	881
固定資産合計	11,075	10,736
資産合計	34,637	35,475
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,528	2,625
短期借入金	647	406
未払金	747	829
未払費用	522	636
未払法人税等	422	496
賞与引当金	686	869
役員賞与引当金	12	11
その他	190	193
流動負債合計	5,758	6,069
固定負債		
退職給付引当金	2,225	2,093
その他	134	118
固定負債合計	2,359	2,211
負債合計	8,118	8,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	12,819	13,622
自己株式	△63	△63
株主資本合計	26,445	27,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	28
為替換算調整勘定	△97	△223
その他の包括利益累計額合計	△64	△194
少数株主持分	137	140
純資産合計	26,518	27,194
負債純資産合計	34,637	35,475

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	21,330	19,378
売上原価	15,488	13,466
売上総利益	5,841	5,912
販売費及び一般管理費	3,817	4,173
営業利益	2,024	1,739
営業外収益		
受取利息	23	8
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	5	—
受取地代家賃	25	18
その他	7	3
営業外収益合計	63	31
営業外費用		
支払利息	0	11
為替差損	146	77
不動産賃貸費用	4	3
その他	5	16
営業外費用合計	156	109
経常利益	1,931	1,661
特別利益		
固定資産売却益	4	1
関係会社株式売却益	197	—
特別利益合計	202	1
特別損失		
固定資産除却損	15	14
社名・ブランド変更費用	97	11
特別損失合計	112	25
税金等調整前四半期純利益	2,021	1,638
法人税、住民税及び事業税	610	585
法人税等調整額	288	△41
法人税等合計	898	544
少数株主損益調整前四半期純利益	1,122	1,093
少数株主利益	23	8
四半期純利益	1,098	1,084
少数株主利益	23	8
少数株主損益調整前四半期純利益	1,122	1,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△5
為替換算調整勘定	△139	△133
その他の包括利益合計	△134	△138
四半期包括利益	987	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	954
少数株主に係る四半期包括利益	18	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,021	1,638
減価償却費	659	617
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	△132
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92	182
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△3
受取利息及び受取配当金	△24	△10
為替差損益 (△は益)	80	40
支払利息	0	11
持分法による投資損益 (△は益)	△5	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	10	12
関係会社株式売却損益 (△は益)	△197	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△837	1,963
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△313	△619
仕入債務の増減額 (△は減少)	630	122
未払金の増減額 (△は減少)	△166	104
その他	△476	81
小計	1,404	4,006
利息及び配当金の受取額	16	10
利息の支払額	△0	△11
法人税等の支払額	△542	△507
営業活動によるキャッシュ・フロー	878	3,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	—	△5,000
預け金の払戻による収入	200	—
定期預金の払戻による収入	—	3,600
有形固定資産の取得による支出	△1,220	△369
有形固定資産の売却による収入	64	7
無形固定資産の取得による支出	△90	△69
関係会社株式の売却による収入	765	—
その他	△6	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287	△1,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	47	—
短期借入金の返済による支出	—	△210
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△225	△281
少数株主への配当金の支払額	△44	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222	△491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	△112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	213	1,063
現金及び現金同等物の期首残高	5,474	8,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,687	9,245

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に製品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o ・カスタム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「センシングコントロール事業」は、F A用センサ、P L C、プログラマブル表示器等を、「プロセッシング機器事業」は、レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等を、「E c o ・カスタム事業」は、エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品他等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,232	4,546	4,551	21,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,232	4,546	4,551	21,330
セグメント利益	2,241	243	315	2,800

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,060	4,255	4,062	19,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	11,060	4,255	4,062	19,378
セグメント利益	1,882	329	390	2,602

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,800	2,602
全社費用(注1)	△857	△885
調整額(注2)	81	22
連結財務諸表の営業利益	2,024	1,739

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。